



病診連携通信

第35号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂総合病院
令和2年 10月

～ 光干渉断層血管撮影(OCTA)を導入しています ～

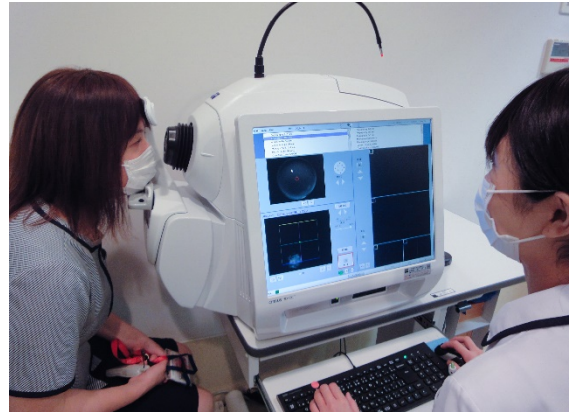
昨年より、当科ではOCTangiography(OCTA)(光干渉断層血管撮影)を導入しています。



(OCT撮影装置)

蛍光眼底造影不能例(造影剤アレルギー・肝腎機能低下例・妊婦・小児など)や治療前の評価・治療後の経過観察、特に新生血管の描出や無灌流領域・中心窩無血管領域の評価に活用しています。

OCTAはOCT(光干渉断層撮影)の原理を用いて動きのある構造物を画像化して血液情報を描出する技術で、造影剤を用いずに非侵襲的に血管構造を観察できる画期的な観察法です。また繰り返し撮影が可能なので、タイミングを逸さない適切な治療に必要不可欠です。



(OCTによる撮影風景)

数分で簡単に検査ができる上に、造影剤を使用しないため、副作用もありません。この検査が有効な疾患として糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症などがあります。気になる患者さんは是非、当科に一度ご相談ください。

眼科 : 神田 尚孝

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂総合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または
☎024-932-6363 (代表) をお願い致します。